



仲間とともに
その11

いいたてスキークラブ

1泊2日の蔵王合宿は毎年の恒例行事ですが、今年は大雪のために中止になってしまいました。残念！これは平成25年の合宿のひとつです。

活動データ

- 時 12月から3月の第3日曜日が定例会。その他の週末にも活動します。
- 料 年会費3,000円と実費。
- 小学生を対象にしたスキー教室も開いています。

「いいたてスキークラブ」は昭和48年に発足。現在のメンバーは20歳代から60歳代の32人で、家族と一緒に参加する人が増えています。SAJ(全日本スキー連盟)に加盟し、指導員資格を取得した人もいるので、初心者が加入しても指導態勢はバッチリです。かつては北海道や、なんとスイスにまで足をのぼしたそうです。ここ10年ほどは蔵王や県内スキー場が中心。冬はスキーを存分に楽しみたい、オフシーズンには納会や総会で交流します。メンバーにスキーの魅力を尋ねると「自然を相手に、体力に合わせて生演奏しめるところかな」と答えが返ってきました。

2/16 「命のおにぎり」が大きな話題に



記録的な大雪の影響で立ち往生する国道の車列に、松川第二応急仮設住宅の住民約20人が炊き出しを行いました。すると後日、この炊き出しで糖尿病のドライバーが命を救われたとラジオ福島が紹介。大きな話題となり、全国の人から称賛の声が寄せられました。

この朝、雪片付けをしていた住民の皆さんは、前日から動かない国道4号線の車列に気づきました。「炊き出した方がいいんじゃない」と声があがります。富山県のお寺から寄贈されていた1斗5升の米を炊き、のりと梅干を持ち寄り、集会所で握ったおにぎりは300個。冷めないよう発泡スチロールの箱で運び、車の窓をノックして、車内の人へ一つずつ手渡ししていきました。

菅野 千代子さん(蔵平)
雪のっこして遠回りして行ったの。力になれたことがうれしくて皆で泣いたりしましたよ

3時間半をかけ配り歩いた4人の方にお話を聞きました

高橋 ビセンタさん(上飯樋)
これほどの雪は初めて。中には小さい子もいて皆に「ありがとうございます」と言われました

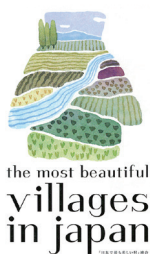
佐藤 明康さん(長泥)
「もらっいいの」と言われ「支援されてきた恩返しだからもらっくんちえ」と渡したんだ

清水 利一さん(蔵平)
食べていない人に喜んでもらえたらという気持ちだった。こんなにニュースになるとはね



表紙 大雪に埋もれたバリケード

2月14日から16日の大雪でバリケードも雪に埋もれました。被害状況などはP7をご覧ください。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。